

## 取組の概要

茶飲み感覚で、誰でも（超高齢者、身体障がい者、独居高齢者であっても）、気軽に集まれる場を提供しようと、活動を開始。会食をしながら情報交換を行ったり、学習会・季節のイベントを楽しんだりしながら交流を図っている。地域の活動にも積極的に参加し、貢献している。

## グループについて

人数：9名  
年齢層：70～80歳  
活動年数：21年(月1回)

## 取組の詳細

月1回集合形式での活動を行っており、季節にも合わせながら下記のような活動を行っている。

- 情報交換：みんなで番茶を飲みながら、世間話や近況などを報告しあっている。
- 会食：自分たちで簡単な昼食を作ったり、お弁当を買ったりして全員で食事をする。
- レクリエーション：集会所の広間を使い、室内で出来る軽スポーツや体操、トランプゲームなどを楽しむ。
- 学習会：年に数回、町の保健師や社協を講師に招き、学習会を行っている。
- 季節会：七夕に短冊を吊るしたり、クリスマスにはサンタに扮装するなど、季節のイベントをみんなで楽しんでいる。

※コロナ禍においても、人と人とのつながりを大切にし、集合形式での活動を継続している。



### <主体性>

超高齢者や身体障がい者の方でも参加出来るような集まりが必要だと、住民自身が考え活動を開始した。参加者は新しい活動を提案したり、各々ができることを分担しながら活動を支え合っている。

### <独自性>

世話役は高齢者の健康増進を謳った唄を新たな活動の一環とするなど、健康に関する情報収集を活発に行っている。活動日はメンバーが出来るだけ全員参加できる日を調整した上で、決定している。

### <地域貢献度>

メンバーには独居の高齢者や身体障がい者の方も半数近くいるが、毎月楽しく参加出来る場となっている。地区内での孤独・孤立の防止にも貢献している。町内組織である熟年会にも出席し、毎週カローリングなどの軽スポーツや道路清掃などの地域貢献活動に積極的に参加している。

### <将来性>

地区での回覧等でも募集をしており、誰でも参加できるような形をとっている。定年退職後の世代や独居高齢者、新しく地区に来た方にも参加を積極的に呼びかけており、昨年度は1名メンバーが増え、今後も継続した活動を期待できる。

## PR ポイント

- もともと地域には高齢者の集う「熟年会」という町内組織があるが、身体障がい者や超高齢者等が気軽に参加出来る場所も必要と住民自身が考えた結果、今の活動に繋がり、地域の中でも重要な拠点の1つとなっている。
- メンバー同士のつながりが強く、連絡等はスムーズに行うことが出来ていることもこのサロンの魅力である。